

みなみっ子だより



9

気にかけるということ

我が子が保育園に通っていた時に、給食に出た琵琶の種をティッシュに大事に包んで持って帰ってきたことがあります。我が家の小さな庭と一緒に植えました。芽が出てくるのが楽しみで、今か今かと待っていましたが、なかなか芽は出てきません。すっかり忘れかけていた頃に、小さな小さな芽がニョッキと出てきたではありませんか！もう嬉しくて、我が子と一緒に大喜びしました。一粒の小さな種の中に、こんなに生きていく力がつまっているなんて、本当に感動です。毎日眺めていると、「お水がほしいよ」「お日様に少しあててよ」というメッセージが伝わってくるんですね。自分の都合で、水をあげたり、肥料をあげたりすると、「今じゃないのに！」といって枯れてしまうことがあります。毎日、植物たちの小さな変化に気づき、メッセージを受け止める心の余裕が必要なのかなと思います。

子どもを育てるのも、私は一緒だと思っています。日々一緒に過ごしていると、「今日は少し元気がないなあ」「今日はとても楽しそうだけど、何かいいことあったのかな？」と子どもたちの表情やしぐさ、小さなつぶやきからたくさんのメッセージをいただくことがあります。これまた自分に余裕がないと、子どもたちの「声なき声」のメッセージを十分受け止めることができず、（気がついてあげられなくてごめん…。）とうことになってしまいます。

子どもたちの「声なき声」を少しでも聴くことのできる大人になりたいと思います。日々、気にかけていると、目に見えないことも見えてくるんですね。

「気にかける」「気遣う」ことは、優しさなのかな…。そういえば、私は、たくさん、まわりの人から「気にかける」「気遣って」もらっているような気がします。みなさんの優しさの中で、日々生かしてもらっています。感謝、感謝。



朝の活動（計算ウイーク）



各月の第2週は「計算ウイーク」といって、5分間集中して計算問題に取り組んでいます。同じ問題を5日間続けることで、基礎基本の定着を目指し、集中力を鍛えます。どの学年もシーンとした教室の中で集中して取り組んでいました。



Bob先生（ALT）との授業が始まりました



アメリカのオハイオ州出身のボブ先生は、日本滞在は5年目。日本語は難しいと言われていましたが、とても上手に日本語を話されていました。これから12月まで、週に1回指導にきてくださいます。子どもたちはとても楽しみにしています。

裏面あり

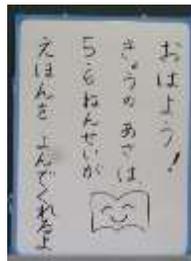
歯と口の健康指導（6月16日）



6月は、どの学年も虫歯予防や歯磨きの仕方について勉強しました。2年生と4年生の学年には、北山歯科医院の先生がお話をしてくださいました。授業の最初に、何やら恐竜のおもちゃが登場！子どもたちの目は、その恐竜にくぎ付けです。草食恐竜と肉食恐竜の歯を比べながら、食べるものによって歯の形が違うんだよというお話をしてくださいました。また、ピーカーの中に砂糖水と虫歯菌を入れて、時間ごとに歯がどのように変化していくか、写真を見せながら説明もしてくださいました。だらだらと長い時間、甘いものを食べるのはよくないことが、とてもよく分かりました。北山先生は、なんと御津南小学校には22年前から来てくださっているのだそうです。みなみっ子のためなら、いつでもお話に来ますよと言ってくださって、とても嬉しく思いました。

図書委員会による読み聞かせ

図書委員会による、1年生への読み聞かせが始まりました。どんな本を読んでくれるのかなと、私の方もドキドキ！初日は「きょうりゅう かぶしきがいしゃ」という本を読んでくれました。とても上手に読んでくれたので、1年生の子ども達は、どっぴり本の世界に浸っていました。図書委員会のみなさん、ありがとう！



今日は何を
読もうかな？



研究授業をしました！

What do you want for your birthday?

外国語の研究を進めてきて今年で3年目になります。

6月18日に、2年生は外国語活動、5年生は外国語の研究授業をしました。これまでの学習の積み上げを感じるよい授業でした。どの子も目を輝かせ、自信をもって発表したり、友達と会話したりしている姿にとっても感心しました。

